

## 生活安全部門 こころのケア分野の活動

代表者：塩入 俊樹

構成員：伊藤 美季, 小泉 暢大栄, 北村 秀明, 鈴木 雄太郎, 桑原 秀樹

協力教員：阿部 亮, 村竹 辰之

### 分野の目的

周知のごとく新潟県では平成16年度、大災害（水害・地震）が立て続けに生じ、現在でも復旧・復興に関連した様々な問題が山積している。我々は被災直後より新潟大学医学部精神医学教室を中心として、被災者の皆さんのこころのケアを担当してきたが、こころのケアについては引き続き長期的な視野での継続が必要となることは言うまでもない。しかしながら、このような経験はわが国では都市型災害である阪神淡路大震災だけであり、日本の8割を占めると言われている中山間地での経験は皆無である。従って、我々は中山間地における災害被災者の長期的こころを実践し、今後のモデルとなるべきこころのケア対策の構築を試みたい。

### 本年度の活動総括

平成18年度における主な活動総括としては、①月2回の旧山古志村診療所（仮設診療所及び種芋原診療所）への訪問による長期こころのケア活動と、②新潟こころのケアセンター及び新潟県精神保健福祉センターとの協力によって、震災2年後のこころのケアアンケートの実施、③こころのケア関連の講演及びTV出演等である。

### 活動計画

①20年間にわたる松之山村（新潟県）での自殺予防研究の経験から、旧山古志村診療所の内科医を中心にして、看護師や担当保健師、ボランティア等も含めた勉強会を定期的に行い、うつ病等の精神医学的知識を修得し、それによって早期発見、早期治療をめざす。②TV会議システムを利用し、厳寒期におけるこころのケア対策の構築。③GHQのような健康度調査票を適切な時期に繰り返し行い、high risk者のピックアップとその情報を現地のスタッフに活用し、早期治療に役立てる。④旧村民の方を対象としたうつ病等の精神疾患の啓蒙のための小セミナーの開催。⑤地域行政職員を対象とした講演会の開催。

### 活動内容

活動の中核とするプロジェクト

テーマ：中山間地における災害被災者の中長期的こころのケア対策の構築。

### 具体的活動内容

テーマは、「中山間地における災害被災者の中長期的こころのケア対策の構築」の一つであるが、上述したように本テーマに対して、5つの具体的な活動計画を本年度は立てている。それらに関して具体的に活動内容を述べる。

①については、既に平成16年度より継続し、旧山古志村診療所の内科医を中心にして、看護師や担当保健師、ボランティア等も含めた勉強会を定期的に行い、うつ病等の精神医学的知識を修得し、それによって早期発見、早期治療をめざしている。具体的には、月2回の旧山古志村診療所（仮設診療所及び種芋原診療所）への訪問による長期こころのケア活動の実践である（写真参照）。



②については、平成17年度末に新潟大学医歯学総合病院と旧山古志村仮設診療所との間にTV会議システムが整ったため、これを利用し、厳寒期におけるこころのケア対策を試みた。その結果、こころのケアに関しては、このTV会議システムが有用であることが判明した。幸運なことに平成18年度は暖冬のため、雪によってこころのケア活動が障害されることがなかったが、来年度はこのシステムを利用する予定である。尚、被災者の方の移動によって、本年度からは新潟大学医歯学総合病院と旧山古志

村種芋原診療所との間にシステムを移行している。

③については、新潟こころのケアセンター及び新潟県精神保健福祉センターとの協力によって、震災2年後のこころのケアアンケートの実施している。2,000名を越える被災者の方々の協力が得られたこのアンケート結果については、前回の施行（震災5ヵ月後）のものとも合わせて、新潟大学医歯学総合研究科総合医療評価学講座情報科学・統計学分野赤澤教授、鳥谷部助教授との共同研究によって今後解析を行っていく予定である。

④については、平成16年度及び17年度に積極的に行っていたこと、また平成18年8月頃から、被災者の方々が仮設住宅から離れていく状況にあり、人が集まらないことなどによって、本年度の開催はできなかった。来年度には対応を考えなければならない。

⑤については、「被災者に対するこころのケアの重要性と留意点」というテーマで、新潟県の行政職員を対象とした講演を行った。今後も同様の活動をする予定である。

#### 活動実績・成果

平成18年度における主な活動実績としては、①月2回の旧山古志村診療所（仮設診療所及び種芋原診療所）への訪問による長期こころのケア活動と、②新潟こころのケアセンター及び新潟県精神保健福祉センターとの協力によって、震災2年後のこころのケアアンケートの実施、③こころのケア関連の講演及びTV出演等である。また、主な活動成果は以下に示すとおりである。

#### 業績等

##### ●産官学連携（外部委員会への協力）

##### ●一般講演（学会講演を除く依頼講演）

被災者に対するこころのケアの重要性と留意点、新潟県県民生活・環境部防災局、新潟ユニゾンプラザ、2006年12月22日、塩入俊樹。

##### ●新聞・報道等（投稿記事を除く）

NHK教育テレビ福祉ネットワーク・中越地震から2年、日時：2006年10月24日、塩入俊樹。

##### ●著書・論文

- ・高橋三郎，染矢俊幸，塩入俊樹（訳）．DSM-IV-TR治療ケースブック治療編．医学書院，2006．
- ・塩入俊樹．パニック障害と自律神経・内分泌系．新しい診断と治療のABC 40パニック障害（竹内龍雄編）．最新医学社，pp.88-108，2006．
- ・塩入俊樹，阿部亮．精神疾患と自律神経障害．最新自律神経学（宇尾野公義，入来正躬監修）．新興医学出版社，pp.201-210，2007．
- ・Watanabe Y., Shioiri T., Kuwabara H., Someya T. Mania after Vascular Dementia in a Patient with Bipolar II Disorder. *Psychiatry and Clinical Neurosciences* 60(1), pp.117-118, 2006.
- ・Kitamura H., Shioiri T., Kimura T., Ohkubo M., Nakada T., Someya T. Parietal white matter abnormalities in obsessive-compulsive disorder : a magnetic resonance spectroscopy study at 3-Tesla. *Acta Psychiatrica Scandinavica* 114(2), pp.101-108, 2006.
- ・Endo T., Shioiri T., Kitamura H., Someya T. Routine use of operational diagnostic criteria affects the pharmacotherapy of dysthymic disorder : national questionnaire survey of experienced psychiatrists in Japan. *Psychiatry and Clinical Neurosciences* 60(4), pp.521-523, 2006.
- ・Shindo M., Shioiri T., Kuwabara H., Maruyama M., Tamura R., Someya T. Clinical features and treatment outcome in Japanese patients with social anxiety disorder : chart review study. *Psychiatry and Clinical Neurosciences* 60(4), pp.410-416, 2006.
- ・Kuwabara H., Shioiri T., Nishimura A., Abe R., Nushida H., Ueno Y., Akazawa K., Someya T. Differences in characteristics between suicide victims who left notes or not. *Journal of Affective Disorders* 94(1-3) , pp.145-149, 2006.
- ・Shioiri T., Kuwabara H., Abe R., Iijima A., Kojima-Maruyama M., Kitamura H., Bando T., Someya T. Lack of a relationship between the pupillary Light Reflex response and state/trait anxiety in remitted patients with panic disorder. *Journal of Affective Disorders* 95(1-3) , pp.159-164, 2006.
- ・Toyabe S., Shioiri T., Kuwabara H., Endo T., Tanabe N., Someya T., Akazawa K. Impaired psychological recovery in the elderly after the Niigata-Chuetsu Earthquake in Japan : a population-based study. *BMC Public Health* 6 , p.230, 2006.
- ・Endo T., Shioiri T., Toyabe S., Akazawa K., Someya T. Parental mental health affects behavioral changes in children following a devastating disaster : A community survey after the 2004 Niigata-Chuetsu earthquake. *General Hospital Psychiatry* 29(2) , pp.175-176, 2007.
- ・Kuwabara H., Otsuka O., Shindo M., Ono S., Shioiri T., Someya T. Diagnostic classification and demographic features in 283

- patients with somatoform disorder. *Psychiatry and Clinical Neurosciences* 61(3) , pp.283-289, 2007.
- ・ Kawamura T., Shioiri T., Takahashi K., Ozdemir V., Someya T. Survival Rate and Causes of Mortality in the Elderly with Depression : A 15-year Prospective Study of a Japanese Community Sample -- Matsunoyama-Niigata Suicide Prevention Project. *Journal of Investigative Medicine* 55(3) , pp.106-114, 2007.
  - ・ 橘 輝, 塩入俊樹, 細木俊宏, 高橋邦明, 高橋公太, 染矢俊幸. 生体腎移植のレシピエント及びドナーにおける術前術後の精神疾患. *精神科治療学*, 21 (2), pp.199-205, 2006.
  - ・ 塩入俊樹. パニック障害の治療法の最適化と治療ガイドラインの策定に関する研究 : パニック障害の自律神経調節異常と1H-MRSを用いた脳内グルタミン酸関する研究. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学事業 平成17年度総括・分担研究報告集, pp.29-35, 2006.
  - ・ 塩入俊樹. 精神科における医療支援. 新潟大学医歯学総合病院 新潟県中越地震医療支援活動報告書, pp.37-42, 2006.
  - ・ 塩入俊樹, 桑原秀樹, 鳥谷部真一, 赤澤宏平, 染矢俊幸. 新潟県中越地震が被災者の精神状態に与えた影響と「こころのケア」による改善. 日本赤十字社 新潟県中越震災に関する災害救護に関する実態調査報告書, pp.307-328, 2006.
  - ・ 塩入俊樹. パニック障害の感覚情報ネットワーク異常. 平成17~18年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 研究成果報告書, 2007.
  - ・ 塩入俊樹. 災害医療の実情と展望 : 新潟中越地震の経験から-5 こころのケア対策-. *新潟医学会雑誌* 120 (1), pp.20-24, 2006.
  - ・ 桑原秀樹, 塩入俊樹. “うつ”を伴う痛みへの薬物療法 : プライマリケアを中心に. *痛みと臨床*, 6 (2), pp.67-73, 2006.
  - ・ 北村秀明, 塩入俊樹. パニック障害と側頭葉. *CLINICAL NEUROSCIENCE*, 24 (5), pp.580-582, 2006.
  - ・ 阿部亮, 塩入俊樹, 染矢俊幸. 頭痛とパニック障害について. *臨床精神薬理* 9 (1), pp.55-56, 2006.
  - ・ 新藤雅延, 塩入俊樹, 染矢俊幸. 社会不安障害の治療においてSSRIとBZD系抗不安薬をどのように使い分けたらよいか. *臨床精神薬理* 9 (5), pp.905-906, 2006.
  - ・ 阿部亮, 塩入俊樹, 染矢俊幸. パニック障害の再発予防と薬物療法. *臨床精神薬理* 9 (6), pp.1169-1176, 2006.
  - ・ 横山裕一, 塩入俊樹, 染矢俊幸. 神経症圏障害の診断-DSMの立場-. *臨床精神医学* 35 (6), pp.609-620, 2006.
  - ・ 塩入俊樹. 精神医学関連学会の最近の活動 : 日本精神科診断学会. *精神医学* 47 (7), pp.796-797, 2006.
  - ・ 桑原秀樹, 塩入俊樹. “慢性疼痛”の薬物療法. *精神科* 9 (4), pp.288-292, 2006.
  - ・ 桑原秀樹, 塩入俊樹. 疼痛との鑑別診断. *脊椎脊椎ジャーナル* 19 (10), pp.1059-1065, 2006.
  - ・ 高木峰夫, 松田英伸, 畑瀬哲尚, 植木智志, 高木律子, 三木淳司, 戸田春男, 白井知聡, 塩入俊樹, 長谷川茂, 阿部春樹. 重傷視神経炎に対するステロイドパルス療法後の反跳現象. *神経眼科* 23 (4), pp.484-492, 2006.
  - ・ 塩入俊樹, 阿部亮, 北村秀明, 長谷川直哉, 丸山麻紀, 飯島淳彦, 高木峰夫. 瞳孔と精神疾患. *脳と精神の医学* 17 (4), pp.369-382, 2006.
  - ・ 遠藤太郎, 塩入俊樹, 北村秀明, 染矢俊幸 : 自閉症はどこまでわかったか?. *新潟県医師会報* 682, pp.1-5, 2006.
  - ・ 阿部亮, 塩入俊樹. 精神障害の治療指針 : 全般性不安障害. *臨床精神医学* 35巻創刊号, pp.112-118, 2006.
  - ・ Toyabe S., Shioiri T., Kuwabara H., Endo T., Tanabe N., Someya T., Akazawa K. Impaired psychological recovery in the elderly after the Niigata-Chuetsu Earthquake in Japan : a population-based study. *BMC Public Health*, 6, pp.230-238, 2006.
  - ・ Endo T., Shioiri T., Toyabe S., Akazawa K., Someya T. Parental mental health affects behavioral changes in children following a devastating disaster : A community survey after the 2004 Niigata-Chuetsu earthquake. *General Hospital Psychiatry* (in press)
  - ・ Kawamura T., Shioiri T., Takahashi K., Ozdemir V., Someya T. Survival Rate and Causes of Mortality in the Elderly with Depression : A 15-year Prospective Study of a Japanese Community Sample -- Matsunoyama-Niigata Suicide Prevention Project. *Journal of Investigative Medicine* (in press)
  - ・ 塩入俊樹. 精神科における医療支援. 新潟大学医歯学総合病院 新潟県中越地震医療支援活動報告書, pp.37-42, 2006.
  - ・ 塩入俊樹, 桑原秀樹, 鳥谷部真一, 赤澤宏平, 染矢俊幸. 新潟県中越地震が被災者の精神状態に与えた影響と「こころのケア」による改善. 日本赤十字社 新潟県中越震災に関する災害救護に関する実態調査報告書, pp.307-328, 2006.
  - ・ 塩入俊樹. 災害医療の実情と展望 : 新潟中越地震の経験から-5 こころのケア対策-. *新潟医学会雑誌*, 120 (1), pp.20-24, 2006.
- 口頭発表
- ・ 阿部亮, 塩入俊樹, 北村秀明, 丸山麻紀, 長谷川直哉, 飯島淳彦, 板東武彦, 染矢俊幸 : パニック障害の治療法の最適化と治療ガイドラインの策定 : パニック障害の自律神経異常. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業研究報告会 2006年2月27日, 東京.
  - ・ 北村秀明, 塩入俊樹, 松澤等, 大久保真樹, 中田力, 染矢俊幸 : 統合失調症における帯状回グルタミン酸と帯状束拡散異方

- 性. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業研究報告会 2006年2月27日, 東京.
- ・阿部亮, 塩入俊樹, 飯島淳彦, 北村秀明, 丸山麻紀, 長谷川直哉, 板東武彦, 染矢俊幸: 自律神経指標を用いた寛解期パニック障害患者の感覚刺激に対する慣れの検討. 第28回日本生物学的精神医学会 2006年9月16日, 名古屋.
  - ・遠藤太郎, 塩入俊樹, 北村秀明, 木村輝雄, 遠藤純男, 染矢俊幸: 自閉症スペクトラムの1H-MRS研究. 第28回日本生物学的精神医学会 2006年9月16日, 名古屋.
  - ・塩入俊樹, 阿部亮, 北村秀明, 丸山麻紀, 長谷川直哉, 飯島淳彦, 板東武彦, 染矢俊幸: パニック障害の治療法の最適化と治療ガイドラインの策定: パニック障害の自律神経異常. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業研究報告会 2006年9月25日, 東京.
  - ・桑原秀樹, 塩入俊樹, 阿部亮, 西村明儒, 染矢俊幸: 遺書の有無による自殺者の特徴の違い - 5000例以上の検討から. 第26回日本精神科診断学会 2006年10月28日, 京都.
  - ・長谷川直哉, 北村秀明, 本田潤, 塩入俊樹, 染矢俊幸: 語流暢性課題実施中の前頭前野賦活とその馴化に対する不安と努力性の影響について. 第6回精神疾患と認知機能研究会 2006年11月4日, 東京.
  - ・塩入俊樹: 不安障害の診断と治療: SADとOCDを中心に. デプロメール「社会不安障害」適応取得記念講演会 2006年1月12日, 津.
  - ・塩入俊樹: 被災者に対するこころのケアの重要性と留意点. 第4回先進事例に学ぶ地震防災実践講座 2006年12月22日, 新潟.

## ●教育活動

### ◎講義

医学概論Ⅱ, 医学部, 塩入俊樹

臓器別統合コース精神神経系, 医学部, 塩入俊樹

統合臨床医学コース臨床医学入門, 医学部, 塩入俊樹

統合臨床医学コース臨床医学講義(集中), 医学部, 塩入俊樹

臨床実習Ⅰ, 医学部, 塩入俊樹

臨床実習Ⅱ, 医学部, 塩入俊樹

精神医学, 歯学部, 塩入俊樹